

学習内容がひと目で分かる 紙面

「何を目標に」「具体的にどのような活動を通して」「何を学ぶのか」がひと目で分かるような紙面を目指し、子どもたちに分かりやすい表現で〔共通事項〕を文章中に繰り返し示すなどの工夫を凝らしています。

→ ユニバーサルデザインとの関連についてはP.32・33でご説明します。

1 題材

各学年の目標を実現するために設定したねらいです。学習のまとめや見通しを分かりやすくするため、各題材の始めのページに大きく示しています。

2 学習目標 (学習内容)

題材のねらいに迫るための学習内容を示しています。

3 活動文 (学習活動)

学習活動を展開するための具体的な手だてを、順を追って示しています。

4 吹き出し (活動のヒント)

〔共通事項〕と関連させながら、学習や工夫の観点、学習活動を発展させるためのヒントなどを示しています。

5 写真やイラスト

活動の手だてを豊富な写真やイラストでサポートします。

学びが
つながり、
深まる

1年P.56・57

各題材は〔共通事項〕を 核に！

〔共通事項〕を核として題材を構成することで、題材内のそれぞれの学習を通して気づいたり見つけたりした内容が相互に関連・発展していきます。その結果、子どもたちに学びが身につき、広がり、深まっていきます。

例 4年「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」P.36～43

この題材では、〔共通事項〕の中の**音色**を中心にしながら、それぞれの教材の特徴に合わせて、「旋律」や「リズム」「音の重なり」「反復」「変化」などのいろいろな〔共通事項〕と関連させて学習を展開します。

それぞれの学習が
相互に関連・発展

関連・発展

関連・発展

関連・発展

題材のねらい
「いろいろな音の
ひびきを感じ取ろう」
の達成

歌唱
+
器楽

音楽
づくり

関連する主な〔共通事項〕

音色 旋律 リズム 音の重なり
拍の流れ 反復 変化

関連する主な〔共通事項〕

音色 リズム 強弱
音の重なり 反復 問いと答え

〔共通事項〕を
核にしているため、
学びがつながります。

歌唱
+
器楽

関連する主な〔共通事項〕

音色 リズム 拍の流れ

鑑賞

関連する主な〔共通事項〕

音色 旋律 リズム

学びがつながり、深まる

どの学年の題材も、同様な考えで構成していますので、「その教材で何を教えるのか」という視点が明確な指導を実践できます。



4年生の題材「いろいろな音のひびきを感じ取ろう (P.36～43)」を例にして、ご説明します。

鑑賞

2 時間

木管楽器の比較鑑賞を通して、美しい **音色** を味わう。



歌唱+器楽

2 時間

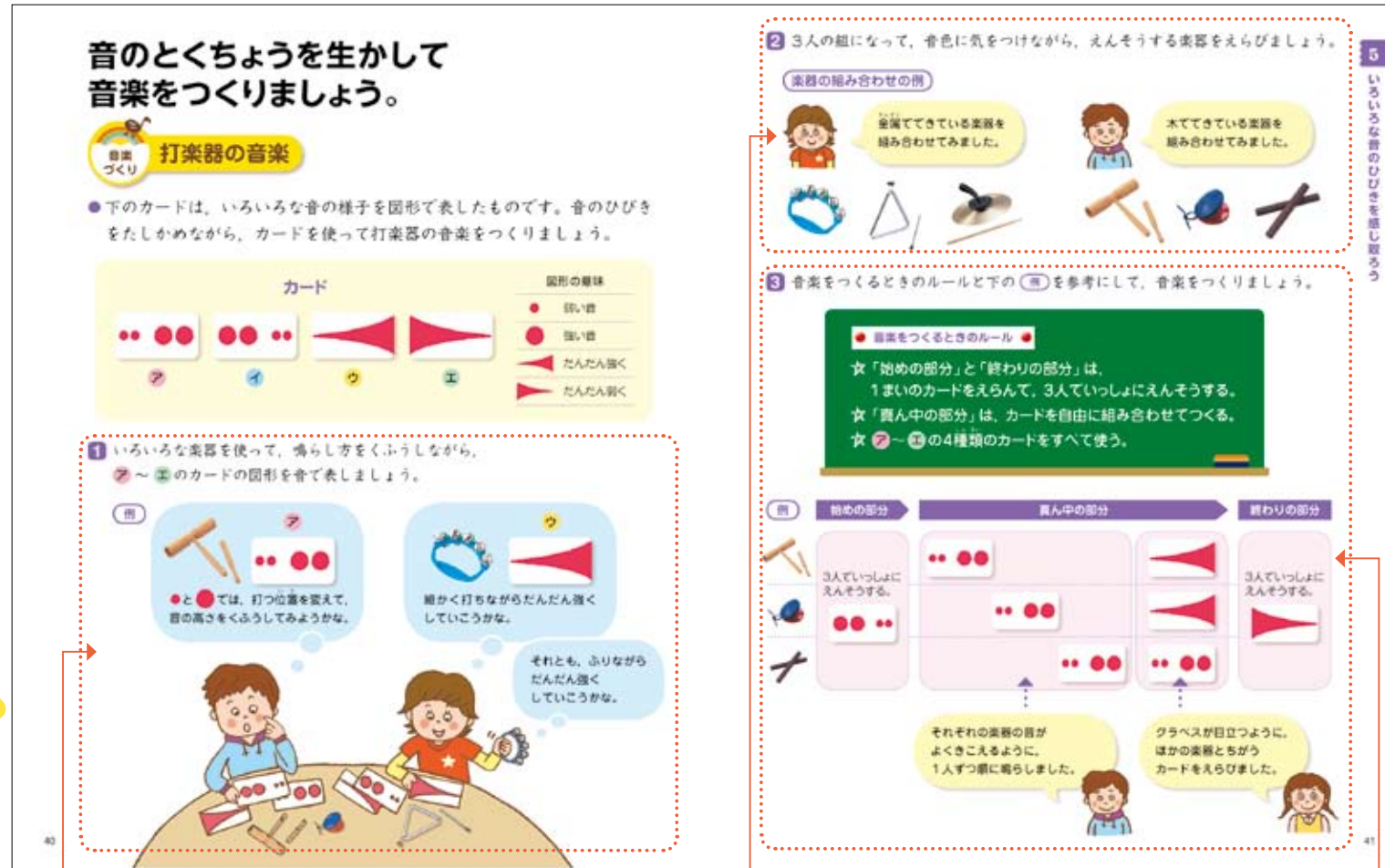
合唱奏を通して、打楽器の **音色** の組み合わせを楽しむ。



音楽づくり

2 時間

打楽器の **音色** の組み合わせを生かして音楽をつくる。



各分野の力をバランスよく、しっかりと育てることができます。



歌唱+器楽

3 時間

器楽合奏を通して、**音色** の魅力や重なり合う響きを味わう。



〔共通事項〕の音色を中心に、気づきや学びを次の教材へつなげていきます。

活動の流れ (例)

1

各自が図形から音をイメージし、**試行錯誤**を重ねながら、即興的な音づくりをする。

思考

判断

2

3人の組になり、「**音色**」に気を付けながら、楽器の**組み合わせ方**を工夫する。

思考

判断

3

「**音色**」の**組み合わせ方**や**重ね方**に気を付け、言語活動を取り入れながら、音楽を構成する。

表現

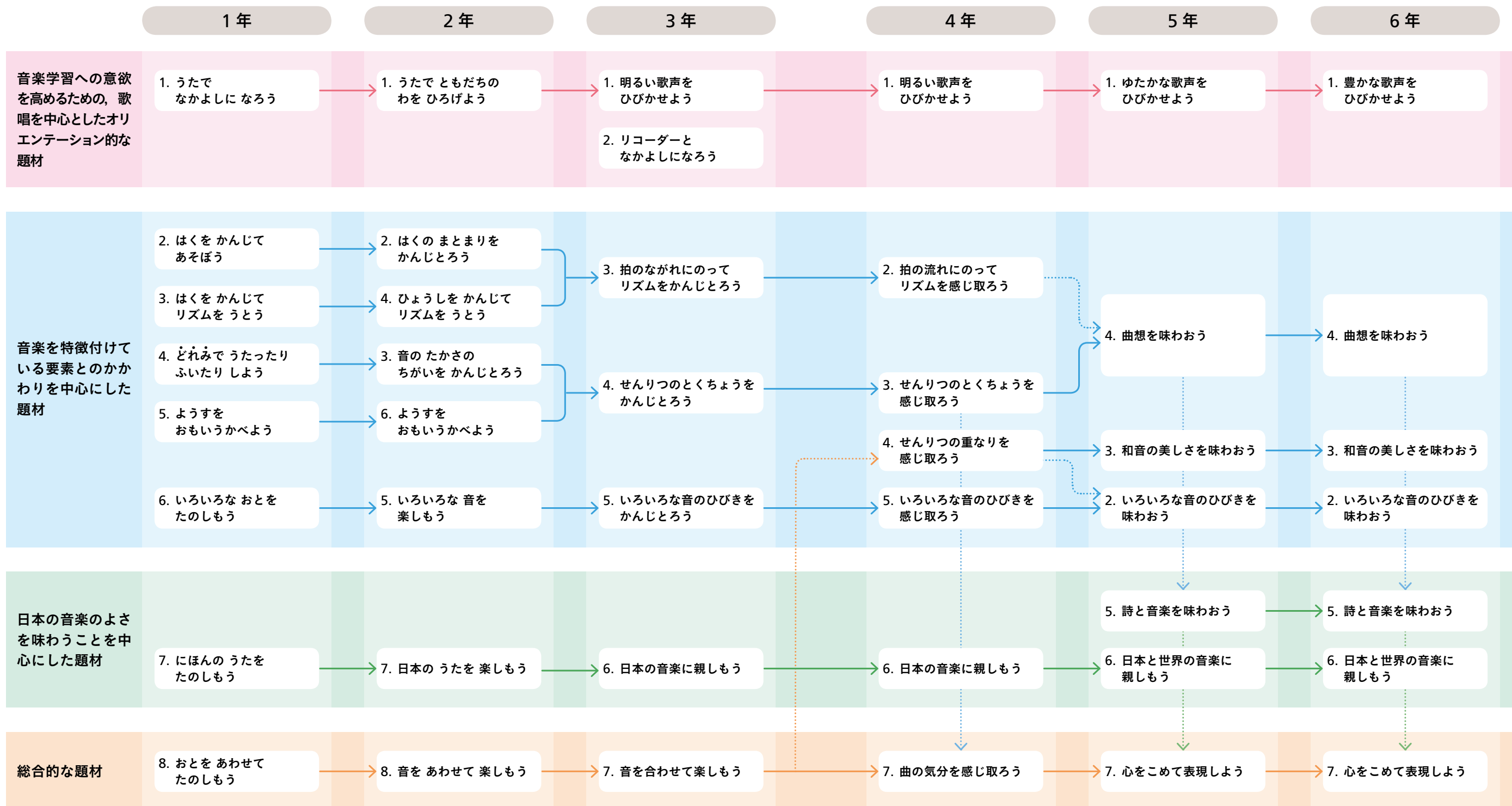
言語活動

1 時間目

2 時間目

題材の系統一覽

学年ごとの流れに加えて、小学校6年間を通して段階的、系統的に学習することができるように題材を構成し、繰り返しの学習や学びの積み重ねによる「学力の定着」を図っています。



中学校へ

小中
一貫

小学校と中学校を通した9年間のつながりに配慮しています。

学びが
つながり、
深まる



音楽科の学びの定着については、〔共通事項〕で示されている「音色」や「旋律」といった言葉と、音や音楽そのものが、子どもたちの中で「**実感をともなって結び付くこと**」が大切です。〔共通事項〕のみを扱う学習を目的とするのではなく、まずは音楽そのものを大切にしたいと考えます。

各ページで
着実に
学習する

〔共通事項〕を含めたさまざまな音楽的な要素を、学習目標や活動文などの文章、キャラクターの吹き出しなどの中で、繰り返し提示しています。

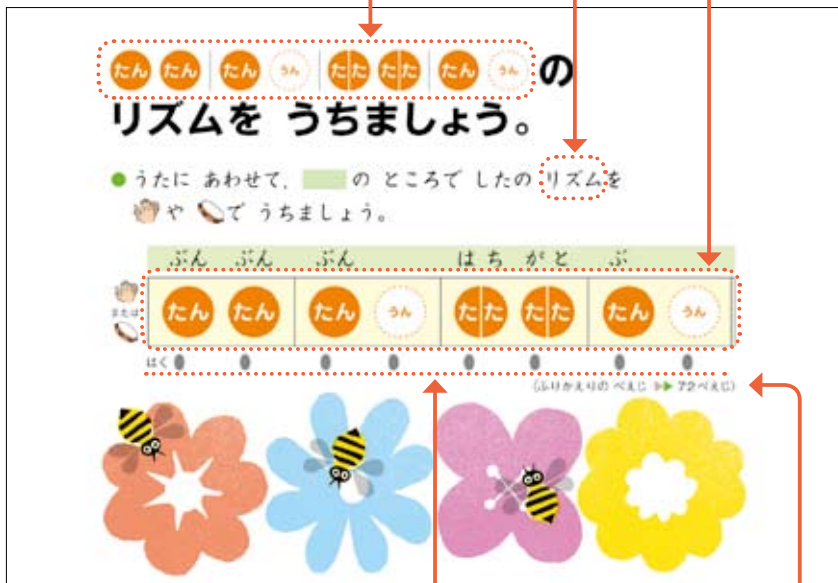


例

リズム

リズム

リズム



1 年 P.22・23

拍の流れ

重要な学習内容は、
巻末の「ふり返りの
ページ」で確認する
ことができます。

子どもに
(共通事項)を
分かりやすく
示す

（共通事項）を示す際には、平易な表現や図などを用いて、子どもたちが音楽的な要素を理解できるように工夫しています。

反復

問いと
答え

「三三七拍子」の
リズムを用いて、
音楽の仕組みを説
明した例

食べ物のカードを用いて、音楽の仕組みを説明した例

反復

3年P.26

变化

「ふり返りのページ」でポイントを押さえ直す

各学年の72・73ページに、「ふり返りのページ」を設け、その学年で押さえておきたい重要な学習内容をまとめています。その学年で学習してきた内容を図表などを用いて示すことで、〔共通事項〕を示す言葉と、音や音楽そのものが子どもたちの中で実感をともなって結び付きます。

6年の例



1 年の例